



平成 27 年 2 月 9 日

各 位

会社名 日本海洋掘削株式会社
代表者名 代表取締役社長 市川 祐一郎
(コード番号: 1606 東証第一部)
問合せ先 広報・IR 室長 谷内 正彦
(TEL. 03-5847-5862)

「HAKURYU-12」のリース方式による運用開始について（開示事項の経過報告）

平成 26 年 11 月 26 日に開示いたしました「リースによる固定資産の賃借に関するお知らせ」に
関し、当社は、東銀リース株式会社（以下「BOTL 社」）がシンガポールの造船所 PPL Shipyard Pte. Ltd.
に発注し、建造が進められていたジャッキアップ型リグ「HAKURYU-12」（以下「本リグ」）につつま
して、平成 26 年 12 月 12 日付けで当社連結子会社 Japan Drilling (Netherlands) B.V をレッシー
とし、BOTL 社連結子会社のリグ保有会社 Maple Maritime S.A.（以下「Maple 社」）をレッサーとす
るリース契約を締結しておりましたが、平成 27 年 2 月 9 日に本リグが完成し BOTL 社へ引き渡され、
同日付けで Maple 社に譲渡されたことをもって、本リグのリース方式による運用を開始しましたの
で、下記の通りお知らせいたします。

なお、本リグは、シンガポールにおいて操業に向けた準備を完了次第、本年 3 月より南米に向け
て曳航を開始し、4 月末からスリナム沖およびガイアナ沖における掘削工事に従事する予定です。

記

1. リース契約の概要

(1) 契約締結日	平成 26 年 12 月 12 日
(2) リース開始日	平成 27 年 2 月 9 日
(3) リース対象物件の概要	
① リグの名称	「HAKURYU-12」
② リグデザイン	PPL Pacific Class 400 デザイン
③ リグの主要仕様	最大稼働水深 400 フィート (121.9 メートル) 最大掘削深度 30,000 フィート (9,144 メートル) 最大吊り荷重 1,500kips (680 トン) マッドポンプ 2,200hp×3 基 BOP (暴噴防止装置) 最大使用圧力 15,000psi 最大居住区収容人員 150 名

2. 業績に与える影響

本件が当社の当期連結業績に与える影響につきましては、2 月 5 日に公表いたしました当期連結
業績予想に織り込んでおります。来期の業績に与える影響につきましては、判明次第必要に応じ
て開示いたします。

【本開示資料ご利用にあたっての留意点】

当資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でない
ものは、将来の業績に関する見通しであり、発表時点で入手可能な情報から得られた当社経営者
の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大き
く異なる結果となる可能性がありますので、ご注意願います。

以上